

〈施設の運営理念〉人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心・安らぎの場を提供します。



いと 西陣憩いの郷だより

vol.38 2025.11.15



Photo by Fumio Okita

先進国の体面

施設長 谷利 康樹



東京ではだしが禁止されたのは明治34年。柳田國男の『明治大正史世相篇』によると、「主たる理由は非衛生ということであったが、いわゆる対等条約国の首都の体面を重んずる動機も（略）働いていた」ようです。

このように都市や国家の体面から生活環境の向上が進むこともあります。昭和39年の東京オリンピックでは、訪日客の印象を良くするため、今や当たり前の定期的なごみ収集等が始まり、首都の衛生状態が大きく改善されました。また令和3年の東京オリンピックでは、法改正により、先進国の中で規制が緩かった受動喫煙対策も強化されています。

さて、今年の大阪・関西万博では、諸外国に立ち遅れているネット予約やチケットレス等、ネットツールの普及も注目されましたが、逆に急速に進むことへの危うさも感じられました。現状では、高齢者等、ネットへの順応が難しい人が多数おられます。そうした方々が社会から取り残されないよう十分な配慮の下で普及が進むことを期待したいものです。

表紙写真の解説

大神殿エルカステイジョ

「チチエン・イツァー／メキシコ」

9世紀初頭に完成したといわれる神殿は、高さ25m、9層の基壇をもち、マヤ文明の建築技術の高さを示す建造物です。

写真左下の蛇頭クルカンに連なる階段側面は、年に2回春分と秋分の日に、日影により羽が出現したように見える構造となっており、マヤ天文学の粋が集まっています。

令和6年度 事業報告(概要)

社会福祉法人
北野健寿会

令和7年6月4日開催の理事会及び同年6月22日開催の評議員会において「令和6年度事業活動報告」を行いましたので、概要をお知らせいたします。

1 施設経営の状況

令和6年度の居室稼働率は、介護人材不足等の影響により、長期入所78.2%、短期入所45.4%に止まり、令和5年度の89.4%を更に下回る施設開設以来、最低の75.8%まで低下しました。

その結果、サービス活動収益は、4億7,618万円にまで激減しました。サービス活動費用は、物価高騰や人材確保に伴う費用が発生したものの、職員数の減少と、経費節減にも努め、前年度を約2,000万円下回る5億3,435万円となりました。

以上のとおり、収益が減少したことにより、令和6年度の経常増減差額は▲5,777万円、経常増減差額比率は▲12.2%と平成17年開所時から初めての赤字決算に陥る事態となりました。(平成26年度の大規模修繕実施年度を除く。)

2 介護人材の確保と育成

(1) 人材確保の取組み

離職者については、前年度の12名から7名に減少、離職率は、前年度の29.4%を下回る15.9%となりました。しかし、新規採用者については、前年度同様、新卒者の応募がなく、中途採用者のみとなりました。また、近年、ハローワークや公的な就職説明会からの応募はほとんど無く、人材紹介会社頼らざるを得ない状況が続いております。

介護人材の確保は、観光業や製造業等の一般企業が軒並み大幅な賃上げを実施しており、益々、厳しさを増しております。

(2) 人材の育成

ア 受講した職員の配置が義務付けられている「ユニットリーダー研修」実地研修に2名が参加しました。イ 「高齢者虐待防止」、「身体拘束適正化」、「感染症防止」等の法定研修を年間計画のとおり行いました。また、コロナ禍で未実施であった、消防署からの派遣を受けた夜間発生想定「消防訓練」を実施しました。

ウ 令和6年度から特別養護老人ホームの設備及び運営に関する国の設置基準となった「感染症(新型コロナウイルス等)発生時における業務継続計画」「自然災害発生時における業務継続計画」に沿った研修・シミュレーション訓練を、実際の感染症発生時や災害時を想定しながら行いました。

3 特養入居者の概況

(1) 平均年齢は94.8歳。最高齢は113歳、最年少は76歳。平均要介護度は「3.9」で近年、大きな変化はありません。入居者全員に何らかの認知症の傾向がみられます。日常生活自立度が「Ⅲ」以上の重度の方が44名と、入居者の約5割を占めています。

(2) 令和6年度の入退居者数は退居された方が39名、入居された方は35名でした。また、入居期間は3年未満が、概ね7.5割。最長入居期間は、13年11箇月となっています。

4 介護の状況

入居者の人権を守り、安全で快適に、その人らしく暮らしていただくため個々の好みと生活リズムを大切に「24時間シート」を活用したユニットケアを推進し、個別ケアサービスの質を向上させるとともに、職員一人ひとりが専門的知識・高度な介護技術を習得するために意欲的に取り組みました。

コロナ禍において制限していたご家族との面会・外出制限を大幅に緩和し、ご家族との時間を過ごしていただくことで、入居者の方により安心で寛いでいただけるよう取り組みました。

(1) エビデンス(根拠・アクセスメント)分析/評価に基づいたケアプランによる支援の実施

(2) 認知症に対する正しい知識の習得 認知症の方の行動には、ご本人なりの理由があることを理解し、原因を探り、ご本人にとって安心な生活を提供し、また、職員には研修やカンファレンスを通して認知症への知識の習得に努めました。

(3) 高齢者虐待防止の取組

ア 「高齢者虐待防止のための指針」の整備
イ 外部の専門家を加えた「虐待防止対策委員会」の設置・定期開催
ウ 虐待防止研修の充実
エ 全職員に対する月1回の「虐待チェックシート」の活用

これらを活用し、引き続き、適切な入居者処遇の確保に取り組んでまいります。

(4) 事故の無い、安全で快適な暮らしの提供

事故の発生は、ご入居者・ご家族に多大の不安を与え、施設の信頼を失いかねないものであるため、「ヒヤリ・ハット」報告書の活用・定着化を全フロアで進め、常に緊張感を持ち介護業務に当たるよう努めました。

ア 事故の発生状況について

令和6年度の事故発生件数は、260件と前年度と比較し20件減少

貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

資 産 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	137,929,294	211,918,893	△73,989,599
現金預金	63,697,805	135,379,825	△71,682,020
商品券	40,000	0	40,000
事業未収金	72,810,533	75,904,686	△3,094,153
未収金	65,000	70,000	△5,000
立替金	717,720	269,504	448,216
前払費用	598,236	294,878	303,358
固定資産	1,157,773,836	1,188,249,462	△30,475,626
基本財産	1,035,241,572	1,067,081,352	△31,839,780
土地	549,000,000	549,000,000	0
建物	486,241,572	518,081,352	△31,839,780
その他の固定資産	122,532,264	121,168,110	1,364,154
構築物	3,455,953	5,077,543	△1,621,590
車輛運搬具	3	3	0
器具及び備品	18,803,863	14,004,565	4,799,298
有形リース資産	15,497,351	12,060,401	3,436,950
権利	119,000	119,000	0
出資金	10,100	10,100	0
無形リース資産	1,568,160	2,352,240	△784,080
長期貸付金	167,760	249,380	△81,620
施設設備整備積立預金	82,000,000	87,000,000	△5,000,000
長期前払費用	910,074	294,878	615,196
資産の部合計	1,295,703,130	1,400,168,355	△104,465,225

負 債 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	94,395,755	113,337,550	△18,941,795
短期運営資金借入金	30,000,000		30,000,000
事業未払金	26,571,618	30,883,357	△4,311,739
1年以内返済予定設備資金借入金	20,760,000	66,180,000	△45,420,000
1年以内返済予定リース債務	4,276,800	3,142,920	1,133,880
預り金		227	△227
職員預り金	1,787,337	2,131,046	△343,709
賞与引当金	11,000,000	11,000,000	0
固定負債	151,673,810	170,674,910	△19,001,100
設備資金借入金	38,180,000	58,940,000	△20,760,000
長期運営資金借入金	100,000,000	100,000,000	0
リース債務	13,493,810	11,734,910	1,758,900
負債の部合計	246,069,565	284,012,460	△37,942,895
純 資 産 の 部			
基本金	242,055,000	242,055,000	0
第一号基本金	242,055,000	242,055,000	0
国庫補助金等特別積立金	157,261,417	166,006,043	△8,744,626
その他の積立金	82,000,000	87,000,000	△5,000,000
施設設備整備積立金	82,000,000	87,000,000	△5,000,000
次期繰越活動増減差額	568,317,148	621,094,852	△52,777,704
(うち当期活動増減差額)	△57,777,704	9,991,756	△67,769,460
純資産の部合計	1,049,633,565	1,116,155,895	△66,522,330
負債及び純資産の部合計	1,295,703,130	1,400,168,355	△104,465,225

6 入居者の健康管理に対応する医療的支援

な楽しみであり、また生活意欲の向上につながるものでもあるため、毎月、昼食のカレー、ビーフシチュー、間食の蒸しパン、プリンアラモードなど、入居者自身が共に料理作りに参加し、料理の香りや楽しい食生活を送っていたできるよう努めました。また旬の食材を使用し、祇園祭や春分の日などにお弁当を提供、おせち料理、クリスマス、節分、ひな祭り等の行事食を提供し、食事を通して季節を感じていただきま

(1) 入居者を医療面で支援するため、施設医の週32時間勤務体制を確保しつつ、入居者の発熱等、急変時は施設医と協力医療機関である相馬病院とが連携し必要な医療に繋げました。

新型コロナウイルスの感染状況
令和6年度においては入所者15名、職員28名の感染がありましたがいずれも単発での感染に留まり、施設内でクラスター化することはありませんでした。

(3) 誤薬事故防止対策として、介護職員が間違いを起さないような「配薬ボックス」の工夫や、従来からの「声出し・指さし確認」に加え、薬袋に印字されている入居者氏名の箇所にサインペンでラインを引き、服薬直前に再度入居者ではないかを確認し、誤薬事故防止に向けて、安全で確実な薬の服用を支援しました。

(4) 褥瘡予防対策として、適切なクッション選びや適正な使用方法、ポジショニングを行い、褥瘡発生を予防するとともに、安楽な睡眠の確保に努めました。また、皮膚トラブルの早期発見、早期対応に努め、外科・皮膚科の往診と適切な処置による治療の継続に努めました。

※ 令和6年度事業報告の全文については、西陣廻いの郷のホームページに掲載しております。

事業活動計算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	476,135,242	566,320,605	△90,185,363
	経常経費寄附金収益	45,000	200,000	△155,000
	サービス活動収益計(1)	476,180,242	566,520,605	△90,340,363
	費用			
	人件費	367,188,168	385,151,883	△17,963,715
	事業費	69,074,191	74,597,556	△5,523,365
	事務費	64,996,976	63,156,026	1,840,950
	利用者負担軽減額	337,125	483,889	△146,764
	減価償却費	41,506,114	40,194,354	1,311,760
サービス活動外増減の部	国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,744,626	△8,749,731	5,105
	サービス活動費用計(2)	534,357,948	554,833,977	△20,476,029
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△58,177,706	11,686,628	△69,864,334
	収益			
	受取利息配当金収益	171,484	39,902	131,582
	その他のサービス活動外収益	2,602,124	1,521,026	1,081,098
	サービス活動外収益計(4)	2,773,608	1,560,928	1,212,680
	費用			
	支払利息	1,114,194	1,982,836	△868,642
	その他のサービス活動外費用	1,259,412	1,272,964	△13,552
特別増減の部	サービス活動外費用計(5)	2,373,606	3,255,800	△882,194
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	400,002	△1,694,872	2,094,874
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△57,777,704	9,991,756	△67,769,460
	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
	特別費用計(9)	0	0	0
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	0	0
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△57,777,704	9,991,756	△67,769,460
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	621,094,852	611,103,096	9,991,756
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	563,317,148	621,094,852	△57,777,704
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	5,000,000	0	5,000,000
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	568,317,148	621,094,852	△52,777,704

新役員体制のお知らせ

令和7年6月に当法人の理事・監事・評議員の改選があり、新体制についてお知らせいたします。

理事		評議員	
相馬 隆人 (理事長)		兼松 豊	
亘田 文夫		寺田奈都子	
相馬 靖		中埜 公江	
飛田 収一		中村 紀之	
吉村 康		藤田 寛	
谷利 康樹 (常務理事・施設長)		森 啓高	
		横井 康	
		余根田 保	
監事		苦情解決のための第三者委員	
北川 展之		兼松 豊	
小林 由香		中村 紀之	

新役員体制の下、引き続き安定した経営と入居者・利用者様には安全で快適なサービスの提供に努めて参りますので、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。(法人事務局)

しましたが、居室内で過ごされている時や職員が他の入居者の介助に従事している最中に発生した「自己転倒」と「自己すり落ち」が事故の約3.5割を占めています。

全室個室で、入居者のほとんどに認知症がある当施設において、このような密室に近い状況下で、発生する事故をすべて防止することは非常に困難ですが、当施設では、その防止を目指し事故報告書の集計・分析を行い、また各階の介護職で構成する事故防止班を中心に、入居者の認知症状態を把握したうえで、行動パターンの観察・分析・予見を重ね、情報共有を図っております。また、ご家族様へ相談、協力を得ながら居室内の動線づくりに努めています。

イ 京都市への重大事故報告

前年度と同数の6件で、報告内容は、居室内やリビング内での自己転倒、外傷発見ですべて骨折事故でした。

ウ 今後の取組

「事故発生防止のための指針」に則り、「事故防止委員会」による検証・分析と再発防止策を構築するとともに、事故防止班が主体となり、服薬漏れ・誤薬投与の事故分析や職員研修を開催し、情報共有と職員教育に取り組んでまいります。

(5) 看取りケアの推進

ア 令和6年度中に施設内で看取った方21名
イ 令和6年度末現在の看取りケア対応者4名

エ 看取りケアで退所後は、介護職、看護師だけでなく施設医も含めた多職種で振り返りを行い、次の支援に向けた「看取りケア」の推進に努めました。

5 給食・栄養の状況

楽しみながら食事をしていただくための取組

入居者にとって食事は1日の中で大

祝ご長寿のお祝い



9月15日、敬老の日。100歳以上のご入居者様5名とそのご家族様をお迎えし、長寿のお祝いをいたしました。



特別養護老人ホーム 西陣憩いの郷 行事のご報告 2025年5月～



令和7年7月7日 **七夕**

メニュー：たらこふりかけご飯／七夕そうめん にしん茄子／星形しんじょうの煮物 七夕ゼリー

令和7年6月30日 **水無月**

メニュー：間食 普通：水無月

令和7年6月15日 **父の日**

メニュー：レンコンご飯／鶏肉の梅肉焼き 瀬戸内レモンのカジカツ きゅうりとみょうがの和え物 ピーマンと平天の山椒炒め 黄金漬け／清まし汁

行事食の紹介 栄養管理担当より

令和7年9月15日 **敬老の日**

メニュー：栗赤飯／鶏肉の幽庵焼き／エビフライ 干草玉子の吹き寄せあんかけ キャベツときのこの青じそナムル さつま芋のはちみつレモン

令和7年8月16日 **大文字**

メニュー：みょうがの香ご飯 白身魚の南蛮揚げ 茹で豚の胡麻ソース 茄子とベーコンのトマト煮 夏野菜と玉子のサラダ 黄金漬け／清まし汁

令和7年7月19日 **土用の丑**

メニュー：うなぎ丼／菊菜の湯菜和え 茶碗蒸し／赤だし

令和7年7月17日 **祇園祭**

メニュー：枝豆ご飯／湯引き鯉 鶏肉のはちみつしょうゆ焼き 長いものカレー揚げ ピーマンと人参の厚焼き玉子 冬瓜のカニあんかけ 青かつば漬け／赤だし



その他にも喫茶レクや書道レク等いろいろなレクリエーションや献立も 随時HPやSNSにアップしていきますので、ご覧ください。

「入居者様・ご家族様アンケート」（令和6年度）の集計結果について

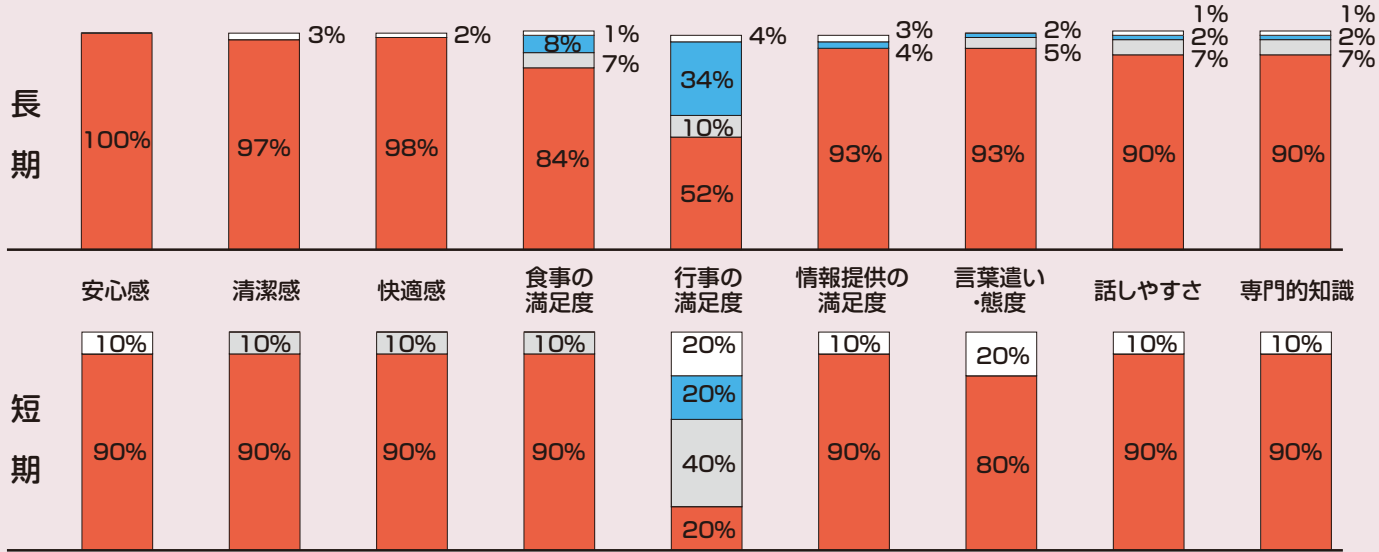
令和6年度分として実施した「入居者様・ご家族様アンケート」結果について、以下のとおりご報告します。

1 アンケート調査について

(1) 回答時期 令和7年4月15日～同年5月10日

(2) 調査状況	配布数		回答数		回答率
	長期	85件	61件	71.8%	
	短期	20件	10件	50.0%	

2 アンケート結果の概要について



3 要点及び対応

(1) 全体
多くの設問において、概ね好意的回答が多くを占める結果となりました。

しかし、長期・短期とも、「行事の満足度」で前回同様、「好意的回答」が少なくなっています。特に短期では、デイサービスを利用されているご利用者様が多いため、デイと比較しての回答とも考えられますが、引き続き満足度を高められるよう、限られた介護人員の中で工夫し取り組んでまいります。

(2) 主なご意見

○好意的ご意見

項目	サービス区分	ご意見
安心感	長期	施設の皆さんの雰囲気が良いので安心しています。
	長期	入院中、母が「憩いの郷に戻りたい!」と言っていました。
清潔感	長期	面会時、毎回きれいだと思っています。
	長期	母の状態に合わせてくださっておりありがとうございます。
食事の満足感	長期	3食共にメニュー、味付けが良い。
	長期	気分転換になって、認知症の進行が遅らせられると嬉しい。
行事の満足度	長期	外へ連れて行ってもらってすごく喜んでいました。
	長期	何かあった時はすぐに電話で報告してくれる。
情報提供の満足度	長期	皆さん丁寧に言葉がけされています。
	長期	電話対応等大変親切で話がしやすくなります。
言葉遣い	長期	若い職員さん含め、言葉が丁寧です。
	長期	退所時、持ち物や服装がきちんと整っている。
話しやすさ	長期	
	長期	
専門的知識	長期	
	長期	

(3) まとめ

今回のアンケートは、令和5年4月に直接面会を再開し、更に令和6年6月から面会制限や外出制限を緩和し約1年経過後、実施いたしました。ご家族様との面会や外出の機会を増やし、当施設が提供している介護ケアの内容や接遇、また居住環境等を身近に感じていただいた上で

結果だと認識しております。

多くの肯定的な意見に感謝しつつ、ご指摘を受けた点については、可能な限り改善に向けて取り組んでまいります。

(参考例)

1	たいへん感じる	好意的回答
2	おおむね感じる	
3	どちらともいえない・わからない	どちらともいえない
4	あまり感じない	
5	まったく感じない	否定的回答
6	未選択	

西陣憩いの郷開所20周年記念事業



【認知症は誰でもある病気】
私は医者になった時代には、認知症は「特別な人」がなる「特別な病気」で、罹ってしまったら周囲からは「気の毒だ」と思われる印象がありました。しかし今や、認知症は家族や身近な人、将来誰がなってもおかしくない病気だと認知されるようになってきました。

認知症予防は生活習慣との関係性が深く、日ごろからの生活が大事です。なつたもちも終わりやといわれた時代もありましたが、そうではありません。なつたもちが勝負です。私は35年間で約1万3,000人の認知症の方を診てきました。そのカルテの統計からも状態が安定している認知症の悪化が抑えられることは確かです。いろんな薬や治療法ができましたが、周囲のケアによって病気が悪くならないという特徴もあります。

【認知症の種類と特徴】
認知症の種類はひとつではありません。一番多いのが「アルツハイマー型認知症」で60〜70%の方がこれにあたります。脳の海馬という部分が縮んでいきます。今まで関心を示したことに興味や興味がなくなつた時が番要注意です。

【認知症は自覚できるのか、心のケアで悪化を防ぐ】
認知症になつても自覚がないといわれていますがそんなことはありません。家族にもかかりつけの先生にも言えない、誰にも言えないから心配になる。その時には地域の皆さん

【若年性認知症について】
40・50代での発症が非常に最近増えてきています。50代前半の方の事例です。仕事や家事をつとめられるのだからか、当事者は自分の事だけでなく、家族の生活がどうなるんだ、子どもの学費を保障する制度はあるのか、世間迷惑を掛けない方法はあるのか。恐怖に打ち震えて相談しに來られました。そんな時に周囲に聞いてくれる人がいれば気持ちが楽になる。

【介護家族の心づからだ】
家族が認知症になつたときに、ご家族の心に起きる段階があります。最初は「驚愕」の時期、無意識に「否定する時期、次に「怒り」「うつ」「適応」「再起」。何度も同じことを繰り返して言われると、家族の中にも怒りが出てくる。その怒りが本人に向くこともあるけれど、職員さんにもこれでもあれもしてという要求が出てくることもあります。家族には様々な気持ちの変化があつて上手にフォローしていけば、やがて適応していきます。3年半くらいが本人

【重度の認知症になつた】
徐々に悪くなつていくと出てくる、けれども発作、誤嚥性肺炎が死因の大きな要因です。脳が縮むことによつてけいれん症候性でかんかんとして起こります。誤嚥性肺炎を予防するには、口腔ケアが大事です。誤嚥というのは食べ物や飲み込むうとしたら普通は食道に行きますが間違つて気管に入つてしまうことで、89%の誤嚥の理由は食べる時ではなく、唾液とともに雑菌が流れ込んで誤嚥性肺炎を起すことが多いです。口をゆすぐだけで、起きる割合が1割くらい低下します。口腔ケアがその方の命を左右するくらい大事だと覚えておいてください。

【地域でできること】
地域包括ケアを聞いたことがありませんか？ そんな社会があったらいいけれど、個人主義の社会の中で地域の私たちは何ができるのか。セルフネグレクトで自分から地域に出てこない人を見かけたから地域から「あの人大丈夫かな？」という情報が入れば行政や専門職がいち早く関わつてあげられることが、本当の地域包括ケアのポイントです。

【当施設における看取り介護について】
当施設のフロアリーダーが看取り介護や当施設での事例について、発表いたしました。



【地域でできること】
地域包括ケアを聞いたことがありませんか？ そんな社会があったらいいけれど、個人主義の社会の中で地域の私たちは何ができるのか。セルフネグレクトで自分から地域に出てこない人を見かけたから地域から「あの人大丈夫かな？」という情報が入れば行政や専門職がいち早く関わつてあげられることが、本当の地域包括ケアのポイントです。

【当施設における看取り介護について】
当施設のフロアリーダーが看取り介護や当施設での事例について、発表いたしました。

新入職員 10月31日現在

よろしくお願いいたします！



5F 介護担当
田端 三喜子



看護担当
桶口 信代



5F 介護担当
平野 純子



6F 介護担当
茂手木 清美

寄付金のお願い

「西陣憩いの郷」を運営する社会福祉法人北野健寿会では事業所の修繕事業やサービス内容の向上、また、地域貢献活動を進めるにあたり皆様からのご寄付を受け付けております。

尚、お寄せいただいた寄付は寄付金控除の対象となります。

ぜひご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、ご退居時以外の職員への菓子類等のお心づけはお断りさせていただいております。合わせてお願いいたします。

担当 事務長 西川

介護サービスの質の向上に向け、外部講師を招いて虐待防止やメンタルヘルスに関する研修、他にも施設職員が中心となり、お看取りや食中毒予防に関する研修等幅広い内容の研修を実施しています。

また、非常時に備えた避難訓練やBCPシミュレーション訓練も実施いたしました。

排泄に関する研修



外部講師によるメンタルヘルス研修



避難訓練の様子



外部講師による身体拘束廃止・高齢者虐待防止に関する研修



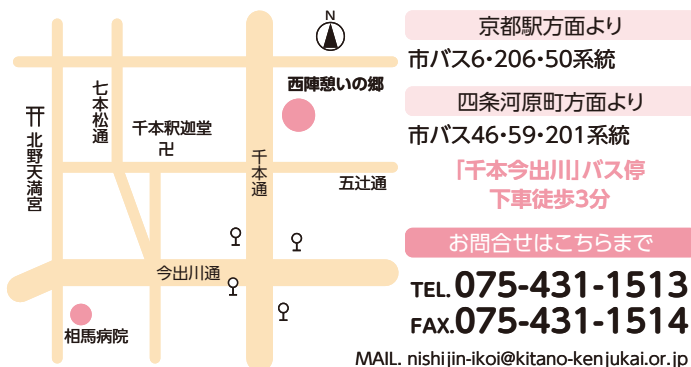
施設ケアマネによる看取り研修



当法人評議員の兼松豊講師による「人間関係論」の研修



施設のご案内



介護スタッフ募集中

詳細はお問い合わせください。

西陣憩いの郷だより38号をお読みいただきありがとうございます。
今年度より、敬老の日に「ご長寿のお祝い」を施設行事として行うこととなりました。本誌5ページにもありますように当施設にご入居されている100歳以上の方5名に理事長より表彰状と記念品を贈呈、お祝いさせていただきました。
今後も施設からのお知らせや入居者様のご様子等、広報誌やHP、SNS（Instagram）を通じて発信していきますので、楽しみにしていただければ幸いです。

（広報誌担当）